測志会だより

発行者　測 志 会
〒546-0023
大阪市東住吉区矢田1-5-9
近畿測量専門学校 内
TEL：06-6607-5650
FAX：06-6607-8830
http://www.kinsoku.ac.jp/sokushikai/
Mail: sokushikai@kinsoku.ac.jp

我が測量人生

副会長　竹井 憲二

新緑の色増す季節となりました。測志会会員の皆様方におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。昨年3月の東日本大震災及び9月の台風12号による土砂災害などで被災された皆様に心よりお見舞い申し上げると共に一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

さて私は測量業に従事して早40年が過ぎようとしています。思い返せばこの間の測量技術・器械の進歩には感慨深いものがあります。当時私は入学前から測量会社に勤めておりましたが、ボタン一つでミリまで計測出来る現在と違い、山間地での中心線打設などは大変で、まず鋼巻尺で斜距離を測定し、鉛直角による真数表を引き、手回し計算機で水平距離を算出するという面倒な作業でした。この仕事を続けていくにはやはり基礎知識が必要との思いと、もう一度学生に戻りたいとの思いから昭和47年に3期生として入学しました。その頃校舎は阿倍野にあり、2年間の修学で測量実習などは橋本市で6週間の合宿を行っていました。私を含め多くの学生がバイト代で授業料や生活費をまかなうなど皆さん苦労されていたと思います。その分、同じ釜の飯的な所があり、今でも結束力が強くゴルフにキャンプとファミリーの付き合いをしております。高度成長期の活気にあふれた卒業当時から下山の思想が必要などと言われる今日まで、さまざまな波にもまれながらも大過なくやってこられましたのも、恩師のご指導や同期生、同窓生の暖かい友情のおかげとあらためて感謝の気持ちがわいてきます。今年還暦を迎え、年齢的には定年や年金受給の年ではありますが、私は未だ現役で現場に向かっております。我が測量人生、大好きなフィールドは後何年楽しませてくれるのでしょうか。

今年も測志会総会・懇親会を迎えようとしています。今回より会場が変更されておりますので、それぞれもお間違えの無いようにお願い致します。懇親会では、恩師、同期生、そしてお若い会員の方々とも測量業界の今後や思い出話など共に語り合いたいと思っております。皆様も同期生、お知り合いの卒業生をお誘いの上、多数のご出席をお願い申し上げます。

空間情報技術への期待

専任教員　山下 恵

平成12年7月以降発行の日本写真測量学会誌「写真測量とリモートセンシング」に、「空間情報の計測と利用」のサブタイトルが付けられた。ミレニアム以降、GPSのSA解除によりGPS測量が普及し、GPSとIMUを組み合わせた姿勢位置の計測、航空機／地上LiDAR測量など新しい技術が実用化するとともに、平成14年には世界測地系移行による測量法の改正や地理情報標準第2版の作成が進んだ。平成19年8月には、「地理空間情報活用推進基本法」が施行され、その名の通り地理空間情報の利活用を推進すべく、現在は国土地理院が中心となって国土空間の基盤情報となるデジタル地図（基盤地図情報）の整備が進められている。また、平成20年1月号から日本測量協会月刊誌「測量」のサブタイトルにも「地理空間情報の科学と技術」が付けられ、測量界に広く「空間情報技術」という用語が定着したように思う。

一方、一般社会において「空間情報」や「空間情報技術」という用語が普及しているかというと、従来からの「測量」のほうが馴染み深いのではないだろうか。しかし、近年のGoogle Earth／Mapに代表されるインターネット地図とモバイル端末の普及により、リアルタイムで位置情報を提供するGPSなどの全球測位衛星システムや、デジタル地図の作製・整備に欠かせないデジタル写真測量、様々な地表の状態を画像情報として提供する衛星リモートセンシング、位置情報を介して各種地図・画像情報・属性の表示を制御する地理情報システムなど、いわゆる「空間情報技術」は、日常生活において、より身近なツールになっている。

このようにインターネット環境とモバイル端末が当たり前となりつつある今日、一方では社会基盤となる各種空間情報の共有や災害時のリアルタイムな情報提供が求められている。特に、防災減災や安全安心な社会構築に関連し、空間情報技術に関する専門知識はもちろんであるが、専門の技術者に限らず、空間情報技術の社会における役割についての周知、普及も必要ではなかろうか。さらに、自然災害などへの対策や安心安全な社会に向けて、義務教育の科目の中にも、空間情報技術の貢献についての記述や具体的事例を取り入れることも検討できないだろうか。理想論かもしれないが、子どものころから社会基盤である空間情報あるいは空間情報技術に興味を持つことは将来の空間情報技術者の育成、さらには時代毎の空間情報技術の発展へと繋がり、その結果、安全安心な社会が構築されるのではないかという期待を抱いている。

たまには古い映画はいかが

校長　濵口 栄

「ニュー・シネマ・パラダイス」という映画を見たくて東京渋谷の小さな映画館まで行ったのは23年ほど前である。

ストーリーも知らないこの映画をどうしても見たかったのは一枚のその映画のチラシに興味を持ったからである。チラシの写真は少年と老人が二人乗りをしている自転車のみ。少年は小学1年生になるかどうかの年齢で二人はこぼれる笑顔である。たまたま見かけたこのチラシに、私は自身の小学生時代を思い出した。一枚のチラシの写真は時にココロを震えさせる場合がある。

私は小学校入学後すぐ、自転車に乗りたくて仕方なかった。近所の先輩が自転車に乗って颯爽と風を受けて走る姿がうらやましく、父親に無理矢理頼んで自転車に乗せてもらい、自身の3倍はあろう自転車を走らせるのが夢だった。父親と自転車は遠い昔のワンシーンとして、いまだにくっきりと網膜に焼き付いている。キッカケとはこんな単純なことから始まるのかもしれない。

さて、本題の「ニュー・シネマ・パラダイス」はイタリア・シチリアの小さな村から物語は始まる。主人公トトとその村の映画館パラダイス座の映写技師アルフレードの人間模様が素晴らしく描かれている作品で、1989年カンヌ映画祭審査員特別大賞を受賞している。

トトはパラダイス座の映写室に入りたくて何度も挑戦するがアルフレードに追い返される。なんでもそうだが失敗しても何度もアタックする勇気があればうまくいくのである。あきらめない精神が人間を大きくさせる。やがてトトは映写室に潜り込むことに成功。そこからそこが彼の教室になる。先生はアルフレード。決して広くないスペース、蒸し暑く、ホコリが舞う教室であるが、彼には十分な学べる環境であった。

「人はナゼ、人をスキになるのか」「どんなときに涙が出るのか」「貧しくても頑張って困難を乗り越え、その先にはなにがあるのだろうか」トトはこの教室で映画という教材と最高の先生と出会い、人生の勉強を重ねる。

夏のある日、トトとアルフレードは村を二人乗りの自転車で走る。これも野外授業として二人には忘れられない思い出となる。「アッ、このシーンは。」私はこのシーンを見つめながら目頭が熱くなったのを覚えている。

昔の映画のフィルムは粗悪なもので上映中に摩擦熱でよく燃えたそうだ。アルフレードもこの火傷が原因で失明してしまう。アルフレードに代わってトトが映写技師になり、あの教室で学んだことを胸に青年としてたくましく成長していくのである。

やがて30年の月日が流れ、トトはニューヨークで映画監督として生活をしていた。嵐のような雨が窓を激しく打つ夜中、アルフレードが死んだという電話が入る。受話器を握りしめながら、あの狭い教室でのレッスンがよみがえる。

制作予算も低く、そんなに宣伝もしなかった映画。ストーリーも単純で大掛かりなロケーションもなし。しかし世界中の人々の胸を熱く揺るがした作品であることは間違いない。

この映画は「平凡な中にこそ幸せがある」ことを教えたかったのかもしれない。

平成23年度 会計報告

■収入の部

前年度繰越金	¥4, 456, 169
終身会費	¥1, 020, 000
総会寄付	¥165, 000
会報寄付	¥203, 680
懇親会費	¥359, 000
雑収入	¥2, 409
合計	¥6, 206, 258

■支出の部

通信費	¥339, 172
事業費	¥1, 791, 290
事務費	¥9, 135
会合費	¥71, 680
慶弔費	¥12, 000
次年度繰越金	¥3, 982, 981
合計	¥6, 206, 258

第29回 測志会 総会・懇親会のご案内

日　　時：平成24年 6月30日（土）17時30分から
場　　所：ホテル大阪ベイタワー　４階「金枝の間」
（地下鉄中央線・ＪＲ　弁天町駅直結）
懇親会費：正会員 5,000円
※平成19～23年度卒業生 3,000円
※近畿外在住 3,000円
準会員（在校生） 2,000円

同期生お誘い合わせの上、多数ご参加ください

土地家屋調査士資格取得をお考えの方
近畿測量専門学校・卒業生の方は調査士本試験「午前の部」が免除となります！！
近測卒業生（※1）の方に限り合格実績豊富な当学院の土地家屋調査士基礎講座（※2）を特別に40%OFFで受講いただけます。
土地家屋調査士2013 本科＋合格直結答練
大阪校通学・日曜クラス（ライブ講義）7月開講
506,000円 → 303,000円
濱本 眞人 本学院講師
土地家屋調査士2013 本科＋実戦答練
大阪校通学・土曜クラス（ライブ講義）9月開講
464,000円 → 278,000円
村上 由佳 本学院講師
※1 在校生の方にも別途割引ございます。
※2 上記の通学講座以外にも、通信教育講座（DVD付タイプ、映像ダウンロードタイプ）での特別割引もございます。
詳細につきましては東京法経学院・大阪校（06-6373-1401）までお問合せください
東京法経学院 大阪校　〒530-0012 大阪市北区芝田1-4-14 芝田町ビル6F
TEL.06(6373)1401　FAX.06(6373)1405

即戦力となる技術者を１年で育成
測量専門学科（１年制）
次世代の地理空間情報技術者を育成
情報測量学科（２年制）
ＡＯ推薦選考
オープンキャンパスに参加して、エントリーシートと面談で選考します。
【受付】６月１日 >>> ９月２９日
【特典】入学金５万円免除＋検定料２万円免除
卒業生推薦選考
卒業生が推薦すれば、書類のみで選考します。
【受付】１０月１日 >>> ３月３０日
【特典】検定料２万円免除
測量士・測量士補国家試験免除／国土交通大臣登録校
学校法人 近畿測量専門学校
546-0023
大阪市東住吉区矢田１－５－９
FAX: 06-6607-8830
info@kinsoku.ac.jp
0120 FreeDial 0120-14-5650　http://www.kinsoku.ac.jp